

## 3羽のヒナが孵(かえ)りました！ ～フクロウのヒナが処分場敷地内の巣箱で成長中～

東京たま広域資源循環組合（管理者：町田市長 石阪丈一）では、2月25日、フクロウが谷戸沢処分場に営巣したことをお伝えしましたが、3月26日に2羽のヒナを、28日に3羽目のヒナを確認できましたので、お知らせします。

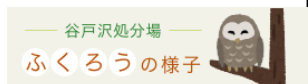
処分場内の巣箱で3羽のヒナが生まれるのはこれが初めてです。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



真っ白な3羽のヒナ（写真下）とヒナを眺める母親フクロウ（写真上）の様子【3月28日撮影】

現在、フクロウは巣箱の中で子育てを行っております。4月下旬ごろには、ヒナの巣立つ姿を見ることができると考えられます。今後は、フクロウの子育て状況を温かく見守ってまいります。この子育て状況については、ヒナの巣立ちまで、逐次、循環組合のホームページに写真を掲載してまいります（ただし、アライグマなどに襲われ、営巣を放棄する可能性もあります。）。



◆ 循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com/>

## 巣箱内でのフクロウの様子



母親のおなかの下から顔を出すヒナ【3月26日撮影】  
(生まれたばかりのフクロウのヒナはきれいな白色をしています)



母親フクロウがお出かけ中のヒナたち【3月28日撮影】  
(巣箱内左下にあるは、エサのネズミです)